

## 第三十四回 口のゆがみと体との関係

上顎の正中線に対して下顎の正中線が左右どちらかにズレをおこしていると、下顎がズレをおこした反対側の首肩が凝り(四十肩・五十肩)、そして下顎のズレをおこしている側には肢関節の足の付け根は外向きなるために(付け根の足は外向きでも足首は内側に向いている場合もある)、その側の足のヒザ、足首、足の裏に異常をおこし、その側の足は反対側よりも長くなります。

(先天性肢関節脱臼、足の骨折、歯のインプラント入れた人は初めから歯を低く作ってあるが故に、頭蓋骨、骨盤が正常にならない為奇形と同じように左右の足の長さも違うのです。)

そこで足のつま先をわざと内側に向けますとその側の奥歯の歯の噛み合わせの高さが低くなるものです。

歯の噛み合わせの高さが低いために足を外へ開いて補正しようと働くものです。

足が外へ開くものですから、その側の腎臓は下へ引っ張られて負担がかかり走ると横のおなかが痛くなったりします。

うつぶせになり(横向かないでまっすぐに・・・)両手をおしりの左右の端から中心に向かって1/4の位置におしりの骨のふくらみがあります。その高さが違っていると、おしりの左右の骨のうち片方の骨は時計の針と同じ方向、反対側の骨は時計の針と逆方向に回転しています。

この骨を補正しているのが頭蓋骨の側頭骨(顎関節の下顎に対してメス側の骨で耳のあたりの骨)でローマ字のL字のように側面横から頭蓋骨の水平に首の骨の前後に伸びています。

またこの側頭骨も左右の骨が片方が時計の針の回る方向に振れ、反対側の側頭骨は時計の針の回る方向に振れ、反対側の側頭骨は片方が時計の針と逆回りの方向に振れます。

(同側の側頭骨と同側のおしりの骨がお互いに逆方向に振れているならば、首・背骨が左右にS字に蛇行しているということで体が常にダルイということになります。)

そして、頭の後ろの後頭骨、前の前頭骨も片側半分の後頭骨は前へあと半分の後頭骨は後ろへ前頭骨も同じで片側半分は前へ片側半分は後ろへくい込んでいます。

{健康な人ならば}

下顎をいっぱい横片側にずらしますと反対側の足が短くなるものです。

(体のバランスが崩れている人はした額を横にずらしますと、同側の足が短くなるか、または片側の足は反応なし)

また、歯の片側だけにティッシュペーパーでもよいですが高くして上下の歯で噛み合わせますとおしりの左右の骨のふくらみが変わり、また左右の足の長さもかわるのです。

{病的な人ならば}

下顎をいっぱい横片側にずらしても足は変化せず無反応です。また、ものをかませて片側の歯だけ高くして上下の歯で咬ませてもおしりの左右の骨のふくらみも左右の足の長さも全く無反応です。

つまり神経伝達反応不良であり病的な状態で硬膜の緊張をおこしています。

硬膜の緊張をおこす原因の外的障害は電磁波、体に合わない薬、歯のインプラント、歯の矯正治療があります。

歯のインプラント、歯の矯正治療があります。

歯のインプラントの場合は骨に直接埋め込み、くっつける為、咬むと骨に直接衝撃があたります。(自転車のタイヤがパンクした状態で乗ると体がそして黄色の歯は歯根膜というクッション作用があります。)

仮に普通の歯と同じ高さに人工の歯を作るとクッション作用がないために高く感じるために咬めないものです。そのために低く作るものです。これが原因でからだに異常をおこす為に多いものです。

今度は歯の咬み合わせで高い部分・低い部分又は歯が抜けたままですと大脳に異常をおこします。

大脳の異常をおこしているその位置に大脳の運動支配領域に異常をおこすものです。

大脳の前よりは前歯で足、大脳の後、つまり奥歯では上半身に異常をおこすものです。そして、大脳のその位置により各内臓の支配領域が決まっているものです。

そしてそれだけではなく血流の異常もおこすやすいものです。

大脳も片側半分に異常をおこすものです。

左右のおしりの骨のふくらみの高さの違う人は背骨の第2腰椎(大人の場合背骨の下から身長によって違うが7~10cmくらい)を境にして上下の血の流れの悪いのがここを境にして左右額になるものです。

(第2腰椎は老人が圧迫骨折をするものこの位置・・・肩と腰が逆方向に振れる)

若い人は骨折はしないが第2腰椎の(テキスト)、脳脊髄液・・・などが流れているが振れるために体の抹消の方に血流が悪くなり手、足、大脳が冷たくなるものです。

(さらにひどくなると脊柱管に脂肪が多くくっついて脊柱管狭窄症)

このように体が振れたりした状態で歯の咬み合わせの高さのバランス、歯の形状が悪いと口がゆがんだり、体のバランスを崩すことになります。

顎の音が鳴るというのも同じです。顎関節の関節円盤だけの問題ではなく、頭蓋骨・背骨と関係があります。

(付加1)

口のゆがみの非常に大きい場合は治療期間は何年も要することになります。

保険で治すということはとても出来ないです。6ヶ月間の月1回の治療では無理です。

(付加2)

顎関節症は頭蓋骨だけの問題でなく体全体の問題であり、頭蓋骨とおしりの骨盤とは全く同じズレ・振れをおこすものです。

顎関節症をおこしますと頭蓋骨の左右の骨が前後に逆方向に振れるだけでなく、四角位箱を上から圧を加えて菱形に壊わした状態に、なったりするものです。又、頭蓋骨の左右が上下にずれたりするものです。

例をあげますと左右の腰の骨に手をあてると、どちらかが上下にずれていると、頭の上の骨も同じように左右が上下にずれているだけでなく口の中の上顎の左右の奥歯、又は歯間の土手も腰の骨と同じように上下にズレをおこしているものです。